

P3-2

訂正を要したがん登録届出情報の特徴と施設間差

大阪国際がんセンター がん対策センター

川野 夏海、井川 俊樹、花原 聡、石田 理恵、原 加奈子、稲岡 史絵、
島津 美寿季、栗原 佳宏、森島 敏隆、中田 佳世、宮代 勲



背景・目的

- 大阪府がん登録室に届出されたデータは**全件、氏名や住所等の個人指標と届出票内の各項目を確認**しており、疑義が生じた場合は、医療機関へ問合せを実施している。
- **問合せは双方に負担**となるため、問合せ・訂正項目の特徴および登録精度の実態を調査した。

方法

対象データ：大阪府がん登録室に届出された2022年診断症例

登録作業時に問合せを行った件数・登録情報の訂正を行った件数を施設ならび問合せ項目*ごとに記録

- 届出件数100件あたりの問合せ件数・訂正件数を施設ごとに算出(届出件数が100件未満の施設は一つのグループとした)
- 訂正を要した項目について割合を算出

*問合せ項目：氏名、住所、性別、生年月日、備考、診断日、死亡日、診療録番号、生年月日と診断日、部位と側性、部位と性別、部位と組織、生年月日と組織、発見経緯と死亡日、診断日と死亡日、性と進(前)と観(後の)と観(後の)

結果

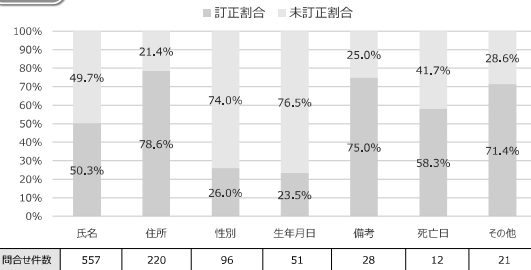
2022年診断症例

任意施設を含むがん診療拠点病院(以下、拠点) **73施設から90,808件**、それ以外の施設(以下、非拠点) **289施設から20,840件**届出があった。拠点が届出の8割を占めた。

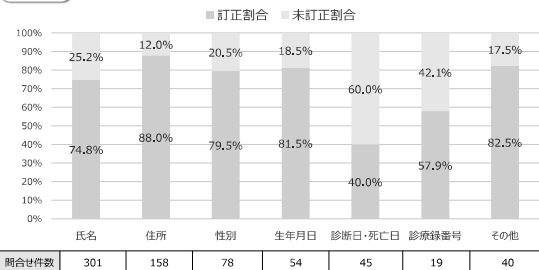
問合せ内訳

問合せおよび訂正の件数は、**拠点73施設で985件(届出数の1.1%)・533件(0.6%)**、**非拠点181施設で695件(3.3%)・532件(2.6%)**であった。

拠点

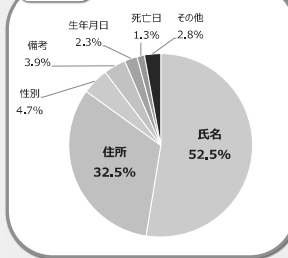


非拠点

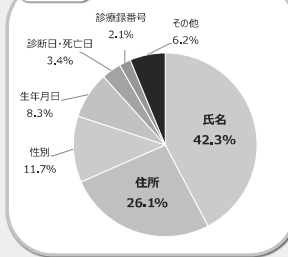


訂正を要した項目

拠点



非拠点

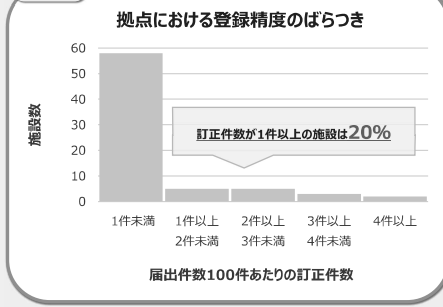


訂正が必要となった項目のうち、**氏名と住所の占める割合が高く、拠点では85.0%、非拠点では68.4%**であった。

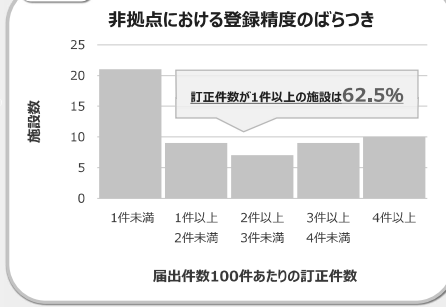
登録精度

届出件数100件あたりの訂正件数の平均は、**拠点で0.9件、非拠点で2.6件**であった。グラフでは横軸に届出100件あたりの訂正件数、縦軸に施設数を示している。

拠点



非拠点



結論

- 非拠点は拠点と比較して届出件数あたりの問合せおよび訂正件数が多く、登録精度は施設によってばらつきが大きかった。
- 拠点は届出件数あたりの問合せおよび訂正件数は少なく、登録精度のばらつきは小さかったが、届出100件あたり訂正を1件以上要した施設は20%を占めた。
- 届出時の氏名や住所の登録精度を向上させることで、問合せ・訂正件数の削減が期待できると考えられた。